

高齢者見守りシステム

プライバシー保護と高精度な見守り機能を両立

概要

近年では、安否確認や行動確認を目的として、高齢者の暮らしを見守るシステムが提供されている。これらのシステムは、各種のセンサーを高齢者の暮らす部屋に設置し、この情報を見守りに提供することで実現されているが、しっかりと高齢者の行動や安否を確認できることに加え、対象者のプライバシー保護も重要である。

この場合、カメラを用いずに人感センサを用いることが考えられるが、精度に課題がある。

本発明は、複数のセンサの配置と演算を工夫することにより、カメラも用いずにプライバシーを保護しつつ、高精度に高齢者の見守りを行うことができるシステムである。

応用例

- 高齢者見守りシステム

性能・特徴等

未公開技術につき、詳細はお問い合わせ下さい。

知的財産データ

知財関連番号 : 特願2023-010098
発明者 : 趙 強福、奥山 祐市
整理番号 : K23-007

お問い合わせ

株式会社東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

お問い合わせフォームは [こちら](#)